

キャラクター名 玄羽 やよい (くろば やよい)	プレイヤー名
-----------------------------	--------

シンドローム	オルクス オルクス	ワークス	看護兵	カヴァー	傭兵 [キリンガラビット]
オプション		年齢	23	性別	女性
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	36 %
出自	姉妹	経験	脱走者	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	12
感覚	2		0	3		5	(非装備時)	12
精神	2		0			2	戦闘移動	17
社会	4		0			4	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	4		意志	3		調達		
運転:			芸術:			知識: 医療	2		情報: 軍事	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
拳銃	射撃	5r-1	0	3		
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	0	3			

合計装甲:	3	合計回避:	0
-------	---	-------	---

所持品	
メモリー	
傭兵キット	
要人への貸し	
思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
【ロイス】起源種	P	N		
野瀬 志紀	P O	信頼 N 不安		
ポリーナ	P O	尽力 N 不安		
ポリーナの両親	P O	尽力 N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	8	残り財産P:	5
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
導きの華	7	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: <交渉> 対象の次のメジャー達成値+[LV*2]								
光射す場所	1	2	メジャー	視界	単体	自動	リミット	
効果: <交渉> 前提《導きの華》/《導きの華》の効果+5								
天使の階梯	5	5	メジャー	視界	単体	自動	80%	
効果: <交渉> 対象の次のメジャーCI値-1(下限6)、達成値+[LV*2]								
妖精の手	5	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象の判定ダイスひとつを10にする。シリアLV回								
要の陣形	5	3	メジャー	-	3体	-	-	
効果: シンドローム/対象を3体に変更。シリアLV回								
未知なる陣形	1	-	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果: 前提《要の陣形》/《要の陣形》の対象を5体に/初期侵蝕+5								
力の法則	4	4	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 対象が与えるダメージを+[LV+1]D。シリア1回								
仕組まれた幸運	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 因子を仕込むことで、ごく限定的な幸運を引き寄せる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

クロドヴァ国軍“デザートミラージュ”に『超人兵-スペリオール-』として雇われている元UGNエージェント。自分や他者に幸運をもたらす能力から、【兎の足-ラビットフット-】の異名を持つ。その基本的に誰とでも相性が良い能力故に、UGN時代は特定の支部に所属せず、各地で経験の浅いエージェントの補佐等を主な任務とする、派遣エージェントとして活躍していた。

5年前にFHの破壊活動に巻き込まれ、乗っていたバスが高架下で落下する事故に遭い、その時にオーヴァードとして覚醒する。オーヴァードでも珍しい【起源種】のレネゲイドに感染しており、領域内の事象——人間の“運”に干渉する能力が著しく高い。顕著な例としては、覚醒の切っ掛けとなった事故では死者はゼロ、怪我人も少数の軽傷者しか出なかった。明らかに偶然では片付けられない状況を一のため、UGNが調査をしたところ、やよいの覚醒が判明し、そこからUGNとの繋がりが生まれる。

6歳年下の妹——玄羽ななせを、生まれたときから溺愛しており、何よりも優先する。そのため年下の、特に妹と同年代の少女に対して、世話を焼きたがるクセがある。それは妹と離れているクロドヴァではより顕著に見られ、少女(幼ければ男子も)に対しては任務の途中であっても手を差し伸べることがある。尚、就寝中以外は、一時間に一度は携帯電話の待受画面にしている妹の写真を見ないと落ち着かないという悪癖もある。

クロドヴァに来たのは2年前。内戦にオーヴァード部隊が導入されるという情報を聞きつけたやよいは、より激化するであろう戦禍によって、一般人が苦しい思いをすることを良しとしなかった。クロドヴァでUGNの理念の通りに人々の日常を守るためには、UGNという組織そのものが足枷となると考え、上層部に直談判する。UGNを抜けてもUGNの理念は捨てないという誓約を交わすことで、離脱が認められ、単身この国にやって来た。そこで出会ったハザードチルドレンの野瀬司紀と、最初は互いのコネや知識経験を目的にコンビを組んでいたが、付き合いを重ねる内に、ただの協力者から相棒へと絆を深めていく。